

英吉利國總記和解

全

ル 8
3044

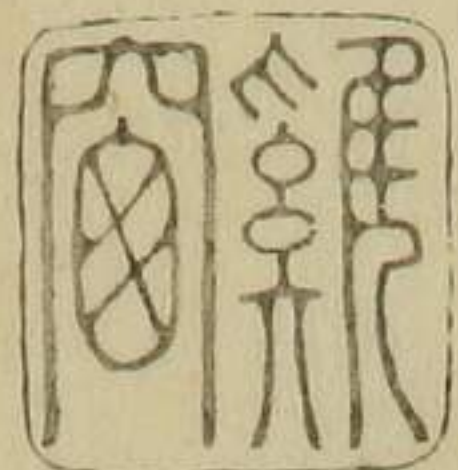


門 八
號 3044
卷

雞窓正木篤著

英吉利國總記和解

常惺移藏櫻



早
第32.2.8
藏書

英吉利國總記和解序

鄉也 余譯美利哥國總記既成又獲英吉利

國總記一書。乃謂蕞爾此舉。不足以垂不朽。雖然已業弗已於一。則何可已於二乎哉。於是復課毛生楮生。譯以國字。且叙之曰。西洋諸國。尤嗜利貿易。徧海內。故窮島絕域。曾無蹤跡之所不既。而牛皮大之欺。呂宋墮其術中。鴉片煙之罔。清國不能得而

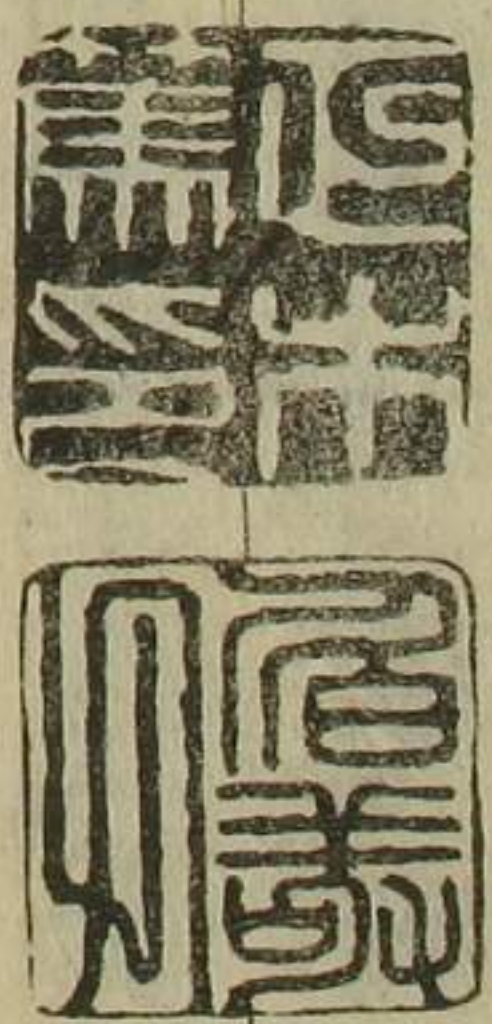


制焉。其儼然可憎已。而唯魯西亞唱義國。唯彌利堅稱公同。是所謂鏡中鐙。雖不足深好。而亦非虎狼之甚也。英夷則柔於此。專以交易立國。不日務焉。必缺一日之用。是以强悍狡黠。黷武極力於剽掠。輒所適之邦。苟和矣。從服其膏血。苟戰矣。從斃其魄肉。譬猶走卒之挽入市塵。為柔羊為猛虎。唯利所在。是則彼其得意之秘策也。

故其國僻在西隅。而張雄於一壺。五大洲中。無適不有分屬焉。亦無一不係遂取凌奪者矣。然則視之魯西亞。彌利堅諸夷。窮為虎狼。可憎之甚者。固品評之曰。英夷一變至於魯。彌。魯。彌。一變其庶乎其近矣。或曰。夷匪相食。於我乎何有。若朶頤東方。則待之何如。曰。嚴乎。易云。不惡而嚴。待小人之道也。夫嚴以待之。使我不有間隙。則雖有百英夷。何懼乎。嗚呼。

此道也。於諸夷亦然。不獨待英為然也。
嘉永七稔甲寅初秋之吉

江都 雞窓正木篤撰



蘭洲處士達書



跋英咭喇國總記
友人正木伯敬携英咭喇總記和解來謂余曰向者弥利堅總記和解吾子既有後叙之賜今亦此編和解成矣將以煩子之一言余受而展觀乃援筆曰今夫英夷在外蕃中冢為梟雄可慮之邦然則我武夫俗士者於彼風土美惡地勢

利害政刑民俗之得失。不可不詳其情狀也。傳聞道光壬寅。英夷之寇廣東諸處。猖獗橫肆。至其甚。則入民屋。奪牛馬。或取貨財。淫婦女。而清人恐懼。重幣講和。事乃平。世入遂謂英兵可憲焉。是則彼事。而我之所以不與也。然前車為戒。而亦可矣。此編歐羅巴人所撰。而林

則徐所譯也。彼鴉片之事。則徐實發之端。遭遇其際。則致意於此。譯必精密。無謬傳。可推以知身。較之於汪文秦考畧。陣逢衡紀略。則又匪遠矣。近時我國有海警。大振士氣。周脩武備。以供緩急之用。則我武夫俗士。彼風土人情。不可不詳其情狀也。伯敬有見乎此。專志於

和解使讀者一覽知其大概。蓋其切時務。豈淺鮮哉。先哲有謂曰。隣國有強敵。則反我幸也。余於當今諸蕃亦云。

嘉永七年。歲在甲寅七月下澣。恒篠杉本達撰。中根聞書。

英吉利國總記和解

歐羅巴人 原撰
侯官 林則徐 譯
邵陽 魏 源重輯
江都 正木篤和解

英吉利又英倫と云又蘭頓と云先よもと荒島あり地
或闢きて居處をほハ佛蘭西の人より始り戈倫瓦部
の土産乃錫とつとも佳よ因と遂は商舶の往て貿易
をらとあり一なり 未紀年がら以前に於てハ蠻大小三十

英吉利國總記和解

種を分ち西に居者を墨士厄と云北に居者を木利菴
斯と云南に居者を西魯力斯と云糯爾和部に居者を
委力斯と云矮西尼と云腹地に居者を薩護と云埤底
伊と云不依諸蠻あり俱に彌特色斯部に居り舊みふ
血衣茹ひ毳衣身衣文げたぐ服士厄の數種ハ漸く
農事成興一技藝成創免器械を制兵車成修め古きよ
因てそとく乃蠻もあきよ效へり旋意大里國に征服
せしれ一のち或ハとむね或ハとぐひ常はるまは依
ふきふる紀歲百五十年に至る漢孝桓帝和平元年英地
成分つて七部落となし景とよひ疏色司といひ依

掩那司といひ委屑司と落滕馬蘭とよひ伊什といひ
麻可臘とよひ鄰部塞循と各々治るに八百年間
唐德宗貞元十五年委屑司の伊末と云者遂に七部成
我延曆十八年委屑司の伊末と云者遂に七部成
一國となし始に英吉利と名つ都成蘭頓に
建る此よアして意大里に屬せむ又二百年宋真宗咸
長保二年領墨國の爲に攻撃せ遂に領墨に屬せり其後或
ハ叛き或ハとぐひ常定るとありむ然るまは壹貨人
を公に舉て王となし傳へ顯利二代の王に至りて先
愛倫島を得次に斯葛蘭島を得をり顯利四代の王乃
時加特力教成てて波羅特士教を尊し顯利七代の王

英吉利國總記口解

二

に至り依來西白刺人拔娶て國郡となむ
始めく世襲の職を革くみふ考取録用よ憑り港をひ
らき市を通り日ふ漸く富庶して遂に歐羅巴の大國
となむなり

職官

律好司衙門ハ各の衙門の事務を管どり理免大訟を
審よ理むるなり額設ハ羅壓爾録司四人阮治彌索司
二人愛倫阮治彌索司一人録司二十一人馬詭色司十九
人耳彌司百九人委爾高文司十八人彌索司二十四人
愛倫彌索司三人馬倫司百八十一人なり斯葛蘭比阿

司十六人ハ即ち斯葛蘭部の屬ふ在り選充ふ三年
あし更易を愛倫比阿司二十八人ハ即ち愛倫部乃
屬ふ在り選充る統計るに四百二十六人あり事あると
起る任を離れ別よ一人を薦免自ら代るは許せり
凡て律好司の家人法を犯しとて死罪よあふさるごと
きハ概く収禁を免せり
巴厘滿衙門ハ其額設ハ甘彌底阿付撒布來士一人あり
ちら水陸の兵丁を轄る甘彌底阿付委士菴棉士一人
ありちら賦税を司る凡て國中とあるに遇ハ甘文好
司あり至り會議に

「らんぶんどうし」それのおらう 甘文好司ハ各部落の事並ニ巴厘滿衙門バリマンヤニ赴キ政事せいじを會議くわいぎするに故理かざむ英吉利の議ぎして舉あるりの四百七十一名の内うちに由よしけり大部落たいぶらうを管つかさどる者もの百四十三名小部落せうぶらうを管つかさどる者もの四名にんれり委爾士いゐるし部ぶ乃議ぎして舉あるその五十三名の内うちより派はて大部落たいぶらうを管つかさどる者もの三十名小部落せうぶらうを管つかさどる者もの二十三名にんなり愛倫いゐらんの議ぎして舉あるその百五名の内うちより由よしけり大部落たいぶらうを管つかさどる者もの六十四名小部落せうぶらうを管つかさどる者もの三十九名にん讀よみなびよ各技藝ぎぎ教かゆる館くわん以管つかさとほ者もの二名にんなり統まて共とも六百五十八名むおのく各部落かくぶらうより由よし般實ぱんじつ老成らうじやうの者ものを

議ぎし舉あることを充あるれりと國中くわんちゆうにありに遇あハ即すなはち傳つたへ部民ぶみんを集あつて國都こくと巴厘滿バリマン官舎くわんしやに至いたり會議くわいぎ嗣ついでで各部民かくぶみんの俱ともに至いたりとありとありとありと因よて故ゆゑに部ぶ落らくおとふ各おの一二いちにの紳士しんし者老しやうらうを舉あげて國くにに至いたり會議くわいぎせしめ事畢ことおひりて各おのかつり後のちはぬとびまると議ぎして公こうに舉あるとありの人ひと決定きやうてんめ常とこに甘文好司かんぶんこうし衙門やもんに住すまて事こと以辨いべんり國家こくがもまと給たまふ薪水しんすい以て以もては布來勿ぶらいぶつ岡色爾おんしやくに衙門やもんハ機密きみつ乃事こと以掌てうしやうどり理おさむ其職そのやく小供せうきゆうる者ものハ先誓せんせいを立たて後のちは事ことを治おさめしむと加密列かみつれつ岡色爾おんしやくに衙門やもんハ額設がくせつ十二名じふににんあり各執事かくしやくじあり法士ほふし

律阿付厘特利沙利と云律古色拉と云
 律布來阿付西爾と云不列士頓阿付岡色爾と云
 色吉力達厘士迭火厘火倫厘拔盟と云
 法士律阿付押彌拉爾底と云馬士達依尼羅付
 厘曷南士と云布力士頓阿付離墨阿付觀特羅
 爾と云占色臘阿付離律治阿付蘭加司達と云
 占色利衙門ハ専ら案件ヲ審み理ると云其額
 設ハ律海占色臘一名印を掌り事ヲ判つ職を司と云

馬士達阿付離羅士十一名事ヲ判り職を司と云係事
 判つ毎ハ二人輪値一周一て再び一始一扼
 岡頓依尼拉爾ハ算法ヲ理む職を司と云係
 經士冕治衙官ハ専ら上控案件を審み理むと云係司
 其額設ハ知付質治一名布依士尼質治三名なり
 甘文布列衙門ハ専ら職官爭控の案ヲ審み理む其額
 設ハ知付質治一名布依士馬倫三名なり
 溢士知加衙門ハ専ら田土婚姻の案を審み理む其額
 設ハ知付馬倫一名布依士馬倫三名なり
 阿西士菴尼西布來阿士衙門ハ其額設撒久六名と云

撒久（まき）とよ質治（あつち）二名（ふた）設（お）り十二名（じふに）專（せん）ら英吉利人（えいぎれきじん）の犯（つ）審（ま）訊（き）る（と）は司（つかさど）どは其事（そのこと）毎年（まいねん）二次（に）あり依尼（いぢ）拉爾（ら）戈達（ご）些孫（せ）阿付（あ）厘（り）比士（ひし）衙門（ごもん）ハ毎年（まいねん）各部落（各のぶらう）の人の犯（つ）審（ま）訊（き）は（と）四（よ）次（じ）なり

舍臘（しゃ）達（だ）文衙門（ぶんごもん）ハ（あ）の官（やく）の職掌（やくざう）ハ

歷（れき）衙門（ごもん）ハ毎年（まいねん）馬落（ばらく）百人（ひゃくにん）派（は）て各部落（各のぶらう）の地方（ちほう）設（お）稽查（きさ）

安（あん）静（じやう）ふは（は）是（こ）否（ひ）せしむ歸（かへ）き（は）具（ぐ）よ一次（いち）設（お）結（むす）ぶ

額（がく）設（お）律（りつ）占（せん）麻（ま）連（れん）官（くわん）ハ官衛（くわんゑい）よ值宿（ちやく）を馬士（ばし）達（だ）阿付（あ）厘（り）夥（た）士（し）

ハ專（せん）ら馬政（ばせい）を司（つかさど）どる色吉（しききち）力達（りきだつ）厘（り）押窩（おしわ）ハ專（せん）ら文書（ぶんしよ）設（お）

収發（しゆはつ）を司（つかさど）どは特里（とく）舍厘（しゃ）阿付（あ）利尼（り）微（み）ハ水師（すいし）船（せん）設（お）

理（り）は（は）司（つかさど）どは勅列（とく）士頓（し）頓（とん）阿付（あ）厘（り）墨（ぼく）阿付（あ）特列（とく）ハ專（せん）ら賀（が）

易（えき）司（つかさど）どは委士（ゐし）勃列（はく）士頓（し）頓（とん）阿付（あ）厘（り）墨（ぼく）阿付（あ）特列（とく）ハ副（ふ）て

貿易（ぼく）設（お）理（り）む比馬（ひ）士達（し）阿付（あ）厘（り）夥（た）士（し）ハ專（せん）ら錢糧（せんりやう）設（お）支放（し）

在（ざい）は（は）司（つかさど）どは波率（は）馬士（ばし）達（だ）依尼（い）拉爾（ら）ハ專（せん）ら公文（くわん）設（お）

馳遞（ち）と司（つかさど）どは流底（りう）南依尼（なん）拉爾（ら）阿付（あ）厘（り）曷南（がく）南（なん）上（じやう）火（か）

廠（ちやう）協（ぎやう）へ理（り）む法士（ほふし）甘靡（かん）孫拿（そん）阿付（あ）厘（り）蘭利（らん）委奴（ゐ）ら田土（でん）

錢糧（せんりやう）を管（つかさど）さどり理（り）む押多（おし）尼依（に）尼拉爾（に）ハ即（すなは）ち總兵（そう）官（くわん）

なり疏利（しゆ）西多（せい）依尼（い）拉爾（ら）ハ即（すなは）ち副總（ふ）兵官（へい）なり愛倫（あい）

部の額設（ぶ）ハ律流（りつ）底南（てい）阿付（あ）愛倫（あい）一人（ひとり）律占（りつ）色臘（しき）一人（ひとり）甘（かん）

曼那（まん）阿付（あ）厘（り）賀些（が）士（し）一人（ひとり）知付（ち）色吉（しき）力達（りき）厘（り）一人（ひとり）委士（ゐ）士（し）

厘沙臘一人押多尼依臘爾一人疏利西達依尼臘爾一人
人々な愛倫部駐劄に

軍伍

額設ハ水師戰艦百五十廿彌孫官百六十人水師戰艦
二駕該管どるなり水師兵九萬人水手二萬二千英吉
利陸路の兵八萬一千二百七十一名阿悉亞洲の内屬國
の兵丁萬九千七百二十名なり
此書ハ本より英夷の字より翻して漢土の字と云
者のためひよ非ざるありた兵を養ふ餉數ふきしハ是を疏漏の大
あるなり
政事

凡そ國王まはり位被嗣んとすはたは國王の官民まはり
厘滿衙門官舎あつまて會議し必は新王加特力教
よ背て波羅特士頓教を尊んで始て位よ即ち國中よ
大事あるとばハ王および官民ともハ厘滿衙門よ至
了公よ議し其うへよて行ふなり
事ハ三年めよ一度會議し兵隊用ひて和好と戰
闘との事あるとたハ國王の裁截とつともまよ必は
厘滿よ由て允該議を國王の行事よ失ありまは
よ承て行んとする人ハ厘滿よより合て罰該議に凡
そ新よ條例改免新よ職官を設け稅餉改増減し

及あび楮幣ぎんさつを行やハ皆王みなグ巴厘滿バリマン頌よろて甘文好司カンブンコウジ官舍官舎
まじりやう轉行のちて後のち又また也なり分布ぶんぷた大臣おほやくおほ及つひ刑官けい官を除ぞ
授つるしをかりハ其權國王そのとらの意い在あり各官承行おのづかの
事こと乃ゆ得あ失勤怠しつじんたいハ每歲まいさいの終おるふ巴厘滿バリマン會あ覈ひをして
其黜陟おとろ行おこなふ
こゝろ王宮歲用

王宮歲用

甘文好司カンブンコウジ官舍官舎歲輸銀二百五十五萬員さいゆぎんにひゃくごじゅうごばんなり凡あそ金銀きんぎん
礦所産くわんじょさんの金銀きんぎんと贓罰ざんばつの銀ぎんとあら俱とも王宮わうきうの支發しはつも
供くるなり國王こわう稱なて京きやうと云い歲需銀三十萬員さいじゆぎんさんじゅうばんなり
王妻わうつま稱なて郡ぐんと云い歲需銀二十五萬員さいじゆぎんにじゅうごばんなりごん值宿官ぢしやく官

班はん占麻連せんまとい管馬官くわんば及と土底赫とちてつとい管家官くわんけ及と麻司まし
達阿好司たつあこうしとい歲需銀七十七萬員さいじゆぎんしちじゅうしちばんなりごん護衛官ごゑい官及と
班侍阿勒爾はんじあれるとい歲需銀三十七萬五千員さいじゆぎんさんじゅうしちばんごせんなりごん此外このほか
おん津貼羅壓爾しんてつらあの官嗑士達くわくしだつの官くわん唔官里士曼おんくわんりしまんあらの
官くわんあり歲需銀八十五萬員さいじゆぎんはちじゅうごばんなりごん綜あて計けるふ王宮わうきうの需き
銀ぎんハ五百九萬五千員ごひゃくじゅうごばんごせんなりごん
ごん國用こくよう王宮わうきうのごん及とバごん殊ごん解ごんへごん

雜記

蘭頓國都らんどんのみやこの銀號一所ぎんごういしよハ昔佛蘭西むかしふらんしやと戰たたひごん一ごんよごんて
商民わきうの本銀ほんぎん四十二萬四千一百四十一萬有奇あ息銀一萬
六千九百二十七萬有奇あ及と虧次くけいによつて票ひやく書あて付あ

蘭語釋義

給年やりごしを分て支取しとらまなり
 河道先くわのちまねは各港おのちうらも通つうせに嗣
 下あいらん 陀蘭特冷河とらんていれいを疏濬さうふんし長なが九十里きゅうじゅうりゅう歷士河れきし疏濬さうふんし長なが
 百二十里ひゃくにじゅうりゅうまゝ依爾力斯靡耶河いりりきふりや陀蘭精孫河とらんせいそん陀蘭王とらんおう
 尼河にが疏濬さうふんを經へよりして四通八達あつうんちやうちやうて舟ふねも港口うらぐちより各
 部落ぶらつも至いたるまで其その由よしく所ところも任まかせて貿易うりあひおろみ便べんふ
 蘭頓らんどんふ都みやこ大書館たいしよかん學問がくもん一所いつ所博物館ぶつぶつかん學問がくもん一所いつ所又
 渥斯賀おまきやうふ部ぶ大書館たいしよかん一所いつ所又建またり内うちふ古書こしよ十二萬五千
 卷まき貯たくわふ又感彌利赤かんみりしやく部ぶふ在あて書館がくもん一所いつ所又建またるあり
 沙士比阿彌爾頓士達薩さしひあみんとんしださ特彌頓とくみんとんといふ者もの四人よににんあり詩
 文ぶん工こうふし著述ちよふふ富とみり其俗そのしよハ貪むさり悍いり奢あやふたつ

とび酒さけ飲のみのみ一いっが惟ただ技藝ぎぎハ靈巧れいこうありその土産まゆりの麥むぎ
 豆稻まめいねハ民たみの食たりやうふ敷ふたゞは資た財ざい鄰國りんこくハ仰あぎて
 商販しょうはんせり千八百年せんぱちひゃくねん大日本寛おほにっぽんかん政十二年せいじふにねん各國こくハ各港おのちうら封ふうてり
 ひ飲のせん因よて外國がいこくの糧りやう至いたる故ゆゑハ本國ほんこくハおろし力ちから
 飲の竭きつて耕作かうさくするおろしよりして糧價りやうげ始はじめてまろし減まり
 本國ほんこくよて所産しよさんの呢羽ねいふハ佛蘭西ふらんせいハ及および紡織器具ぼうしきぐ
 ハ俱ともふ水輪火輪みづぐるまひぐるま飲のみ用もちひまろし或あるハ馬うま飲のみ用もちひて人力じんりきを煩わづら
 るすしちち國くにハ絲いとをいごさきん均ひとしく他國たこくハ由よして采さい
 買かなり
 英吉利國えいぎれいこくハ歐羅巴極西おうらふしよきの地ちハ在あり四面あつちうハ海うみなり

南ハ佛蘭西に距一僅一海港あり東ハ荷蘭羅汶
 子近一東大海に臨て士干哩國名那威耶國と對峙西ハ
 蘭的^{あつらひせ}海名^{あつらひせ}又抵り北ハ北極洋に抵り幅員ハ五萬七千
 九百六十方里 一里ハ大日本の戸口ハ千四百十八萬有奇國
 の東ハ平蕪數百里あり西ハ崇山峻嶺あり 大部落ハ
 五十三小部落ハ四百八十五あり

彌特色司部

東ハ伊什^{いし}に界と一西ハ墨經^{ぼくけい}に界と一南ハ
 舍利^{せり}に界と一北ハ赫治^{かくぢ}に界と一
 小部落三に領る

○蘭頓國都ハ其首部あり都ハ甜河の北岸にあり東西

相距八里南北相距五里戸口ハ百四十七萬四千有奇兵
 丁ハ四千四百名あり土産ハ金銀時辰表珍寶波達酒あり

落滕可蘭部

東ハ海に界と一西南ハス葛蘭^{せつからん}に界と一
 北ハ特爾^{てい}に界と一

小部落十七を領る

良馬倫部

東ハ特爾^{てい}に界と一西ハ海に界と一南ハ蘭
 加^かに界と一北ハ斯葛蘭^{せつからん}に界と一

○ 小部落二十三族領る土産ハ鉛なり
育社部

東ハ海峽界と西ハ蘭加社界と南ハ那
彌峽界と北ハ特爾合峽界と

小部落四十三族領る土産ハ粗呢白礬白呢綿花
地氈細呢なり

○ 委士摩合部

東ハ育社西北ハ良馬倫南ハ蘭加社界と

○ 蘭加社部

小部落七族領る

東ハ育社西ハ海南ハ支社北ハ委士摩蘭を界と
小部落十七族領る蘭加士達の礮臺一所あり土産
ハ呢布鹽煤波達酒なり

○ 支社部

東ハ那彌峽界と西ハ佛凌峽界と南ハ奈

勒社界と北ハ蘭加社界と
小部落七族領る士頓博の礮臺一所あり土産ハ鹽

○ 那彌部

東ハ納鼎合峽界と西ハ士達賀峽界と南

○ 訥鼎含部

ハ利達洗我界と北ハ育社我界と
小部落七我領る土産ハ磁器 鐵 鉛 煤 あり

東ハ領戈吾社我界と西ハ那彌我界と南

ハ利洗達我界と北ハ育社我界と

小部落八我領る

○ 領戈吾社部

東ハ海我界と西ハ訥鼎含我界と南ハ感

密利治我界と北ハ育社我界と

小部落二十二我領る土産ハ呢 長羊毛 あり

○ 勒倫部

東北ハ領戈吾社我界と西ハ斯達我界と

南ハ落合社我界と

小部落三我領る

○ 利洗達部

東ハ勒倫我界と西ハ洼隘我界と南ハ落爾

頓我界と北ハ訥鼎含我界と

小部落六我領る土産ハ氈 襪 あり

○ 斯達賀部

東ハ那彌我界と西ハ奈勒社我界と南ハ

窩洗斯達
界さういと北き支せつ社た界さういと

小部落七
領ま土產さんハ煤鐵鹽せきたんなり

○奈勒社部

東ひがしハ斯達賀せつた界さういと西にしハ悶俄脈里もんがせい界さういと南みなみ

ハ希里賀しりか界さういと北きた支せつ社た界さういと

小部落九
領ま土產さんハ橡木とちなり

○佛凌部

東ひがしハ支せつ社た界さういと西にしハ領糜れんび界さういと南みなみハ領

彌ひ戎く界さういと北きたハ海うみ界さういと

小部落二
領ま

○領彌部

東ひがしハ佛凌ぶりんと界さういと西にしハ格那完うろろなわん界さういと南みなみハ

悶俄脈里もんがせい界さういと北きたハ海うみ界さういと

小部落五
領ま

○格那完部

東ひがしハ領彌れんび界さういと西にしハ放額里あんげれせい界さういと南みなみハ

麻里垣匿社まりかえりつ界さういと北きたハ海うみ界さういと

小部落四
領ま

○教厄里西島部

南みなみハ格那完うろろなわん界さういと東ひがし西北にしきハ俱ともニ海うみ界さういと

○ 麻里垣匿社部

小部落四枚領る土産ハ銅あり

東ハ悶俄脈里枚界ひがし西ハ海枚界にし南ハ加里みなみ凝枚界こん北ハ格那完枚界きた

○ 悶俄墨里部

小部落四枚領る

東ハ奈勒社枚界ひがし西ハ麻里垣匿社枚界にし南ハ那落社枚界みなみ北ハ領彌枚界きた

○ 加爾裡部

小部落三枚領る

東ハ墨力諾枚界ひがし南ハ格爾馬廷枚界みなみ西ハ海枚界にし北ハ麻里垣匿社枚界きた

○ 拉落社部

小部落三枚領る土産ハ鉛あり

東ハ希里賀枚界ひがし西ハ加里凝枚界にし南ハ墨力諾枚界みなみ北ハ悶俄脈里枚界きた

○ 希里賀部

小部落四枚領る

東ハ窩洗士達枚界ひがし西ハ墨力諾枚界にし南ハ滿茅治枚界みなみ北ハ奈勒社枚界きた

小部落五族領まへる

○ 洼洗士達部

東ハ洼隘族界まへ〜南ハ俄羅洗士達族界まへ〜

西ハ希里賀族界まへ〜北ハ斯達賀族界まへ〜

小部落五族領まへる土産ハ磁器細呢ちねなり

○ 窩隘部

東ハ落爾族界まへ〜西ハ窩洗斯達族界まへ〜南

ハ惡斯賀族界まへ〜北ハ斯達賀族界まへ〜

小部落七族領まへる土産ハ銅扣あがねなり

○ 落斯含頓部

東ハ韓鼎倫族界まへ〜西ハ洼隘族界まへ〜南ハ墨

經合族界まへ〜北ハ利洗達族界まへ〜

小部落五族領まへる

○ 韓鼎倫部

東ハ戈密力治族界まへ〜西北ハ之落含族界まへ〜

南ハ脈賀族界まへ〜

小部落二族領まへる

○ 感密力治部

東ハ薩護族界まへ〜西ハ韓鼎倫族界まへ〜南ハ

赫賀族界まへ〜北ハ領戈吾社あがごごを界まへとす

小部落四枚領る

落爾和部

東ハ海抜界ト一西ハ感密力治抜界ト一南ハ

薩護抜界ト一北ハ海抜界ト一

小部落十五枚領る土産ハ羽毛呢嗶嘰五采緞あり

伊什部

東ハ海抜界ト一西ハ赫賀抜界ト一南ハ景城

界ト一北ハ薩賀を界とす

小部落三十枚領る土産ハ麥呢あり

薩護部

小部落四枚領る

落爾和部

東ハ海抜界ト一西ハ感密力治抜界ト一南ハ

薩護抜界ト一北ハ海抜界ト一

小部落十五枚領る土産ハ羽毛呢嗶嘰五采緞あり

伊什部

東ハ海抜界ト一西ハ赫賀抜界ト一南ハ景城

界ト一北ハ薩賀を界とす

小部落三十枚領る土産ハ麥呢あり

薩護部

東ハ海抜界ト一西ハ感密力治抜界ト一南ハ

伊什抜界ト一北ハ落爾和抜界ト一

小部落七枚領る土産ハ短羊毛あり

赫賀部

東ハ伊什抜界ト一西北ハ墨經合抜界ト一

南ハ敏特塞司抜界ト一

小部落四枚領る

脈賀部

東ハ感密力治抜界ト一西ハ墨經合抜界ト一

南ハ赫賀抜界ト一北ハ韓鼎倫を界とす

英吉利國總記口解

小部落五族領る

○墨經合部

東ハ赫賀族界と西ハ惡斯賀族界と南ハ

脈社族界と北ハ落合頓族界と

小部落五族領る

○惡斯賀部

東ハ脈經合族界と西ハ俄羅洗斯達族界と

南ハ脈合族界と北ハ洼隘族界と

小部落五族領る

○俄羅洗斯達部

東ハ惡斯賀族界と西ハ滿茅治族界と南ハ

稔社族界と北ハ窩洗斯達を界と

小部落八族領る土産ハ細呢鉛布煤あり

○墨力諾部

東ハ希厘賀族界と西ハ格馬廷族界と南ハ

厄拉磨凝族界と北ハ拉落族界と

小部落三族領る

○格爾馬廷部

東ハ墨力諾族界と西ハ賓目鹿族界と南ハ

海族界と北ハ加里凝を界と

小部落三枚領る

賓目鹿部

東ハ格馬廷枚界と西南北ニ海枚界と

小部落四枚領る

額臘磨凝部

東ハ滿茅治枚界と西ハ格馬廷枚界と南

ハ海枚界と北ハ墨力諾枚界と

小部落七枚領る土産ハ鐵錫馬口鐵煤あり

滿茅治部

東ハ俄羅洗斯達枚界と西ハ厄臘磨凝枚界

南ハ海枚界と北ハ希里賀と界と

小部落三枚領る土産ハ綿花羊毛鐵煤あり

戈倫和爾部

東ハ里完枚界と西南北ニ海枚界と

小部落十七枚領る戈倫和爾の礮臺一所あり土産

ハ銅鐵錫あり

里完部

東ハ疏馬什枚界と南ハ海枚界と西ハ戈

倫和爾枚界と北ハ海枚界と

小部落二十三枚領る土産ハ錫あり

○ 疏馬什部

東ハ稔社^{うしろまいれ}坂界^{さかい}ト北ハ俄羅洗斯達^{ごをうせきて}坂界^{さかい}ト
西ハ海^{うみ}坂界^{さかい}ト南ハ落爾什^{どろるせつとぶ}坂界^{さかい}ト
小部落^{せうぶらく}十四^{じゅうし}坂領^{さかえり}る土產^{とち}ハ羊毛^{ひつどのけ}あり

○ 落爾什部

東ハ舍社^{せんおまいれ}坂界^{さかい}ト西ハ里完^{りかん}坂界^{さかい}ト南ハ海^{うみ}
坂界^{さかい}ト北ハ疏馬什^{うしろまいれ}を界^{さかい}ト

○ 小部落十坂領

○ 稔社部

東ハ舍社^{せんおまいれ}坂界^{さかい}ト北ハ俄羅洗斯達^{ごをうせきて}坂界^{さかい}ト

南ハ落爾什^{どろるせつとぶ}坂界^{さかい}ト西ハ疏馬什^{うしろまいれ}坂界^{さかい}ト
小部落^{せうぶらく}十一^{じゅういち}坂領^{さかえり}る土產^{とち}ハ大呢^{おほらや}小呢^{こらや}鐵^{てつ}細呢^{こぼそらや}あり

○ 舍社部

東ハ舍利^{せんれい}坂界^{さかい}ト西ハ稔社^{うしろまいれ}坂界^{さかい}ト南ハ
海^{うみ}坂界^{さかい}ト北ハ脈社^{いんまね}坂界^{さかい}ト

小部落^{せうぶらく}十六^{じゅうろく}坂領^{さかえり}る其首部^{そのたりのうぶ}ハ蘭頓^{らんどん}都^{みやこ}坂距^{さかきり}ト甚^{おそろ}ち
か土產^{とち}ハ橡木^{くわく}あり

○ 疏色司部

東ハ景^{かげ}坂界^{さかい}ト西ハ舍社^{せんおまいれ}坂界^{さかい}ト南ハ海^{うみ}
坂界^{さかい}ト北ハ舍利^{せんれい}坂界^{さかい}ト

○ 景部
小部落十六枚領る土産ハ綿花羊毛なり

東ハ海抜界さういニ西ハ舍利抜界さういニ南ハ疏色さういニ
司抜界さういニ北ハ伊什抜界さういニ

土曠とらひろくして沃物産豊盛とくぶつぜんじゆうせいなり屬ぞくする所の落洼らくわの

新圭博しんきやう地ちハ國くにの南みなみニ在ありて海舶かいぱく出入でいりの要港ようかうあり蘭らん

頓とん都と拔は距きよてと甚たどと近ちかく海うみニ對たいハ即すなはち佛蘭西ふらんせいニ

て實まことニ蘭頓咽らんとんおん喉のどのとあり故ゆゑニ落洼らくわの大礮臺たいがうだいを

設立たてて水師巨艦すいしきょくせんおく此こゝニ泊やどせり渣成さうせい兩地りやうちニあ

る所の軍裝器械ぐんさうきぎ火藥かやく火礮かごう及およんでハ均ひとしく渣成さうせい

の庫くらニ貯たくふなり小部落十七枚領る

○ 舍利部

東ハ景抜界さういニ南ハ疏色さうい司抜界さういニ西ハ合あ

社抜界さういニ北ハ蘭頓らんとん抜界さういニ

小部落七枚領る

○ 脈社部

東北きたがひハミズ惡斯賀おんせが抜界さういニ西ハ稔合れんあ抜界さういニ

南ハ合あ社抜界さういニ

小部落五枚領る

○ 特爾舍部

英吉利國總記口解

東ハ海峽界と一西ハ良馬倫峽界と一南ハ育社

峽界と一北ハ落滕馬蘭峽界と一

小部落九峽領る

○萌島部

四面ニハ海峽界と一

良馬倫部と對峙也小部落四峽領る

Faint bleed-through text from the reverse side of the page, including characters like '東', '南', '西', '北'.

英吉利所屬愛倫國附記

愛倫多英吉利の西にして少く北よりより方ニ在

獨り峙する一島なり佛蘭西始て開墾頭目を公

小舉て濶略を綜理しむ紀年九百我昌泰始て領墨國

屬一二百餘年にして英吉利の爲に侵し奪はる

臘墨領部を以て首部落と名し官を設けて約束し

法令を嚴刻をたぐ貨物を蘭頓都に運び售販准し

他國に通じ許さば部落の衆人その歳り切て

心ならずも服す遂に千六百四十年明崇禎十三年

て衆を聚免英人四万を屠殺しとてぐり餘衆を驅て

境を出し旋て蘭頓都の兵の爲に平服せしむるの後
 英國と彌利堅と連年争戦ふに乘て愛倫の人始て
 漸く他國と貿易せしむるを得たり千七百九十八年
 年我寛 英國と佛蘭西と争戦ふ佛蘭西陰に愛倫の
 政十年 人ふ結んで助をなせり愛倫は再び復叛き軍に紀律
 なく佛蘭西に救應ふ及むるに及ぶより數月にして仍
 英吉利に平げらるるあり後英國を以て其苛政を
 歛てや免愛倫の總理大員を設けて臘墨領部に駐
 割を立し書館を建て書十萬卷を貯ふ賦税は毎
 年徵收銀二千二百萬四百七十六員あり河道ハ三麻羅

河あり領塞地より源を發し瓦達賀地の港口に至る
 海に出入冷河ハ阿蘭山より源を發し摩目河各湖の
 水を受滙て冷河に歸利墨里地の港口より海に出
 土産ハ豆麥牲畜あり郭地の土産ハ金沙金塊あり
 塊は重さ二十四兩あるものあり愛倫の四面ハみな
 海にして英吉利の西の少く北に在幅員は三萬
 方里戸口ハ七百七十六萬七千四百有奇大部落ハ三十
 二小部落ハ四百四十二なり

○嶺部
 東ハ海を界とし西北ハ密を界とし南ハ温羅に

英吉利新屬愛倫國附記

七

小部落六を領る土産ハ銀あり

○吉爾那厘部

東ハ温羅を界と一南ハ加樓を界と一西ハ虧引
斯加温速を界と一北ハ密を界と一

小部落十三を領る

○奄特林部

東北ハ海を界と一西ハ倫頓那厘を界と一南ハ
那温を界と一

小部落十六を領る其首部を敏爾化戌と一
大礮臺あり土産ハ夏布 綿布あり

○倫頓那厘部

東ハ奄特林を界と一北ハ海を界と一西ハ倫
頓那厘を界と一南ハ帶倫を界と一

小部落十二を領る土産ハ布あり

○倫俄爾部

東ハ帶倫を界と一西北ハ海を界と一南ハ化
蠻那を界と一

小部落二十九を領る

○帶倫部

東ハ倫頓那厘を界と一西南ハ摩那寒を界と

北ハ羅尼俄爾を界とに

小部落二十を領る 其首部ニ大礮臺あり

臘温部

東南ハ海を界と一西ハ阿馬を界と一北ハ奄特

林を界とに

小部落二十を領る 土産ハ夏布あり

阿馬部

東ハ那温を界と一西ハ摩那寒を界と一南ハ律

を界と一北ハ帶倫を界とに

小部落八を領る 土産ハ夏布あり

摩那寒部

東ハ阿馬を界と一西ハ化蠻那を界と一南ハ

密を界と一北ハ帶倫を界とに

小部落九を領る

化蠻那部

東ハ摩那寒を界と一南ハ帶倫を界と一西ハ

里特臨を界と一北ハ倫俄爾を界とに

小部落九を領る 土産ハ麻あり

加完部

東ハ摩那寒を界と一南ハ密を界と一西ハ里

特臨を界と一北ハ化蠻那を界と一
小部落九枚領る土産ハ夏布なり

○里特臨部

東ハ加完を界と一南ハ朗賀城界と一西ハ色厘俄を界と一北ハ海を界と一
小部落七を領る土産ハ布なり

○色里俄部

東ハ里特臨を界と一西ハ麻約を界と一南ハ羅斯感門を界と一北ハ海を界と一
小部落十一を領る土産ハ布なり

○麻約部

東ハ色里俄を界と一西北ハ海を界と一南ハ牙爾衛を界と一

○牙爾衛部

東ハ羅斯敢門を界と一西ハ海を界と一南ハ吉利野を界と一北ハ麻約を界と一
小部落三十六を領る

○羅斯敢門部

東ハ朗賀を界と一西ハ麻約を界と一南ハ牙

英吉利新羅倫倫國附記

爾衛を界と一北ハ色里俄を界と一
小部落十二を領る

朗賀部

東南ハ衛色密を界と一西ハ羅斯敢門を界と一
北ハ里特臨を界と一

小部落六を領る

衛塞密部

東ハ密を界と一西ハ羅斯敢門を界と一南ハ
經士加温を界と一北ハ加完を界と一
小部落八を領る

密部

東ハ拉墨領を界と一南ハ吉爾拉里を界と一西
ハ衛色密を界と一北ハ摩那寒を界と一

小部落十六を領る

律部

東ハ海を界と一西ハ摩那寒を界と一南ハ密
を界と一北ハ阿麻を界と一

小部落七を領る土産ハ夏布羽毛紗なり

經士加温部

東ハ吉爾拉里を界と一西ハ牙爾衛を界と一南

英吉利所屬諸國附記

ト

と虧引士加温遮を界と一北ハ衛色密を界と一

○ 小部落八枚領る

○ 格列野部

東ハ底比那里を界と一南ハ里敏利を界と一西

ハ海を界と一北ハ牙爾衛を界と一

○ 加里部

小部落十六を領る土産と鉛鐵煤あり

○ 郭部

東南ハ郭を界と一西北ハ海を界と一

東ハ哇達活を界と一南ハ海を界と一西ハ加

里を界と一北ハ離敏里を界と一

○ 小部落三十二を領る

○ 離敏里部

東ハ底比那里を界と一南ハ郭を界と一西ハ

加里を界と一北ハ吉列野を界と一

○ 小部落十四を領る

○ 底比那里部

東ハ吉爾景尼を界と一西ハ離敏里を界と一

南ハ哇達賀を界と一北ハ牙爾衛を界と一

○ 小部落二十三族領る

○ 哇達賀部

東ハ温斯稔を界と一西ハ郭を界と一南ハ海を界と一北ハ底比那里を界と

小部落十を領る

○ 吉爾景尼部

東ハ加樓を界と一北ハ虧引斯加温速部を界と一西ハ底比那里を界と一南ハ哇達賀を界と

小部落十一を領る

○ 虧引斯加温速部

英吉

東ハ吉爾拉里城を界と一西ハ底比那里を界と一南ハ吉爾景尼を界と一北ハ經斯加温を界と

小部落七を領る

○ 加樓部

東南ハ温斯貨を界と一西ハ吉爾境を界と一北ハ吉爾那里城を界と

小部落五族領る

○ 温羅部

東ハ海を界と一西ハ吉爾那里城を界と一南ハ温貨を界と一北ハ那墨利斯を界と

小部落十二を領る

○温斯賀部

東南ハ海を界と一西ハ哇達賀を界と一北ハ

温羅と云

小部落十六を領る

英吉利國總記和解

大尾

正木仙八藏板

英吉利所屬斯葛蘭島附記

斯葛蘭の地ハ三島相接て一河中ニ流る東南ハ平曠

て西北ハ山あり一本愛倫の人の關く所あり中ごろ

斯葛司人畢斯名と東南ニ割據たれ遂に其地を名

づけて斯葛司と云ふ又士特那臘果律人西北ニ割據

とあり紀年五百福人の時におあはる南齊永元二年 斯

葛司を併吞て部落を阿果律山の上ニ建傳るふと二

百五十餘年塞循の根尼刺人名ニ滅されて名を斯葛蘭

と易らその後布魯士名と互ニ争ふとあり英國の

壹賀王兵を以て巴利葛を助け立て王となし傳へ

英吉利所屬斯葛蘭島附記

て士都軋名王み至て無道部衆やうやく怨うらみ千六百三年

ふ於て明萬曆三十三年英吉利遂に間を乗ておまを滅やぶす

伊鄰麻社名地茂以て首部落とあり官茂設け商を通

然あるも其衆人の心ハ今に至るまで士都軋名王に

向ふて英國に向ふざふなり伊鄰麻社の首部落に

色孫衙門名官舎一所を設け官十五人以て訟茂聽きしむ

益士知衙門名官舎一所を以て賦税茂徴歳に徴銀二千

三百八十五萬員あり甘文好司名官舎一所ハ執事四十

五人とふ官民たちの公に舉るに由り大書館名學問所

一所ハ書十萬卷茂貯ふなり習俗固執し膽大經營

を河渠ハ五火臘河あり源を邊羅冕山の麓より發あす

付利刺阿名地の港に至る海に出入る河來底河度稔河ハ

源を攬緋里斯社名地に均ふ一ハ臘納社名地より海に

出一ハ麻邑名地より海に出まると一河あり源を和化名地

に發し拔社名地に至て分ち流る其一の經行て海に

出ると底河といひ一の環繞る鼻付社名地に至る茂泗

比河といふ

斯葛蘭

東南、英吉利を界とす西北ハ海を界とす

幅員々二万九千六百方里戸ハ二百三十六万三千八百

英吉利所屬斯葛蘭編纂附記

四十口あり 大部落三十よりして小部落三十八を領る

○伊鄰麻社

東ハ哈領頓社を界と一北ハ海抜界と一南ハ比墨爾社を界と一西ハ領利俄社を界と

○領利俄社

東ハ伊鄰麻社を界と一北ハ海抜界と一西ハ斯達凌社を界と一南ハ伊鄰麻社を界と

○萊斯麻社

東南ハ英吉利を界と一西ハ攪緋里斯社を界と一北ハ麻威壹社を界と

小部落九を領る

○攪緋里社

東ハ萊斯麻社を界と一西ハ埃野社を界と一北ハ那納社を界と

小部落十四を領る

○加爾格墨利社

東ハ攪緋里社を界と一南ハ海を界と一西ハ稔達温を界と一北ハ埃野社を界と

小部落七を領る

○稔達温社

稔達温社

東ハ加格墨利社を界と一西南ハ海を界と一

北ハ埃野社を界と一

小部落五を領る

埃野社

東ハ攬緋里社を界と一南ハ稔達温社を界と一

西ハ海を界と一北ハ凌埠流社を界と一

小部落十七族領る土産ハ呢煤鹽なり

凌埠流社

東ハ那納社を界と一南ハ埃野社を界と一西

ハ海を界と一北ハ攬麻頓社を界と一

小部落四族領る土産ハ布紗袈裟衣布あり

那納社

東ハ斯達凌を界と一南ハ凌埠流社を界と一

西北ハ阿埃爾社を界と一

小部落十二を領る其首部ハ那納の礮臺あり土産

ハ布紗羽毛なり

比墨司社

東ハ西爾格社を界と一南ハ攬緋里社を界と一

西ハ那納社を界と一北ハ依鄰麻社を界と一

小部落三を領る

○西爾格社

東南ハ葉斯麻社を界と一西ハ比墨司社を界と
一北ハ依鄰麻社を界と一

○麻壹社

東ハ海を界と一南ハ葉斯麻社を界と一西ハ
依領麻社を界と一北ハ哈領頓社を界と一
小部落十枚領る

○哈領頓社

東北ハ海を界と一南ハ麻壹社を界と一西ハ

依鄰麻社を界と一

小部落五を領る

○斯達凌社

東ハ領九俄社を界と一南ハ那納社を界と一
西ハ攬麻頓社を界と一北ハ拔社を界と一
小部落八を領る其首部に礮臺二所あり

○攬麻頓社

東ハ斯達凌社を界と一南ハ凌埠流社を界と
一西北ハ阿埃爾社を界と一
小部落二枚領る其首部に礮臺あり

○阿蘭島

干代耶の東埃野社の西にあり

小部落一を領る

○阿埃爾社

東ハ拔社を界と一西南ハみふ海を界と一北ハ

英哇爾社を界と一

小部落三十七を領る其首部ニ礮臺二所あり

○拔社

東ハ和化社を界と一西ハ阿埃爾社を界と一

南ハ斯達凌社を界と一北ハ英哇爾社を界と一

小部落二十四を領る

○噶利滿蘭部

東ハ邑匪社を界と一南ハ海を界と一西北ハ拔

社を界と一

小部落四を領る

○邑匪社

東ハ海を界と一西ハ噶里滿蘭を界と一南ハ海

を界と一北ハ拔社を界と一

小部落十三を領る其首部に經哈倫地ニ礮臺あり

土産ハ大花緞煤なり

英吉利所屬所屬島南島付巴

○ 和化社

東南ハ海を界と一西ハ拔社を界と一北ハ阿麻領社を界と一

小部落十二枚領る其首部ニ殿臺二所あり

○ 經加那引社

東南ハ海を界と一西ハ和化を界と一北ハ阿麻領社を界と一

小部落七枚領る

○ 阿麻領社

東北ハ海を界と一南ハ和化社を界と一西ハ

鼻付社を界と一

小部落二十九枚領る

○ 鼻付社

東ハ阿麻領社を界と一餘の三方ハ原かける

小部落八を領る

○ 麻立社

東南ハ鼻付社を界と一西ハ泥倫を界と一北

ハ海を界と一

小部落五を領る

○ 泥倫社

東ハ麻立社を界とシ南ハ英哇呢斯社を界とシ
西ハ羅士社を界とシ北ハ海を界とシ

小部落一を領る

○英哇呢斯社

東ハ阿領麻領を界とシ西ハ海を界とシ南ハ阿
埃爾社を界とシ北ハ羅斯社を界とシ

小部落三十八を領る土産ハ布れり

○羅斯社

東西ハ海を界とシ南ハ英哇呢社を界とシ北
ハ沙特蘭社を界とシ

小部落二十六を領る

○沙特蘭社

東ハ結尼司社を界とシ西北ハミナ海を界とシ
南ハ羅士社を界とシ

小部落十三を領る

○結尼司社

西ハ沙特蘭を界とシ東南北ハ海を界とシ
小部落十一を領る

新刊... 所屬... 題

...

... 卷之六



